

日本クラブユース (U-15) サッカー選手権 千葉県大会 決勝戦

2018年6月3日(日) 13:40キックオフ ～第一カッターフィールド～

ドラゴンズ 1-2 (1-2, 0-0) Wings

主審:杉田 直樹氏 副審:小林 章浩氏、並木 佑磨氏、第4の審判員:松澤 誉氏

暑い中、素晴らしいレフェリングをありがとうございました。



左から並木氏、杉田氏、松澤氏、小林氏



杉田氏

小林氏

並木氏

松澤氏

第23回千葉県サッカー選手権大会兼天皇杯JFA第98回全日本サッカー選手権大会千葉県予選

2018年5月13日(日) 13:00キックオフ ～フクダ電子アリーナ～

プリオベッカ浦安 1(0-0,1-2)2 VONDS市原FC

主審:金次 雄之介氏、副審:森田 秀一氏、菊池 俊吾氏、第4の審判員:小西 和幸氏(文中敬称略)

千葉県の天皇杯代表を決めるこの試合。ポツポツ雨が降る中のキックオフ。VONDS市原が先制してすぐにプリオベッカ浦安が点を取り返す戦いになりました。試合後半には雨も強くなり、このまま延長戦突入かと思ったところで、VONDS市原が決勝点を決め、千葉県代表の座を決めました。この日、試合を担当したレフェリーの中にフレッシュな顔を発見したので、その方にスポットを当ててインタビューをしてみました!

Q. 菊池さん、2級昇級おめでとうございます。昇級してすぐこのような舞台を経験していかがでしたか?

菊池：ありがとうございます。このような大舞台で副審を務めることができ大変光栄です。貴重な経験をさせていただきました。この試合の緊張感、または選手やチームスタッフ、



左から菊池氏、金次氏、小西氏、森田氏



サポーターの想いがひしひしと伝わってきました。この試合では判定が難しい部分が多くありましたが、試合を通し、副審を最後までやり遂げられてホッとしています。

Q. なんでも、選手から華麗な転身を回ったそうですが、答えられる範囲で構わないので、簡単に経歴など教えて頂けますか？

菊池： 中学、高校とジェフユナイテッド千葉の下部組織に所属していました。中学3年生、高校3年生ではキャプテンも務め多くの経験をさせていただきました。高校3年生のときにユース審判員として県リーグの副審を務めたところ、その場には千葉県1級審判員の五十嵐さんがいて、そのときに審判界にお菊池氏頂いたことが審判を始めたきっかけです。

Q. レフェリーの立場になってみて感じることや見える景色など、違いやギャップ、または共通することなどはありますか？

菊池： 選手とレフェリーの大きな違いは色々なところに気を遣わなければいけないところだと思っています。私が選手の時、試合前や試合中には自分やチームのことだけを考えていればいいだけでした。しかし、レフェリーの立場ではそういうわけにはいきません。試合の運営上、試合前にやらなければならないことはたくさんあります。試合中も負傷している選手が出た場合は安全を優先したり、選手の温度を把握してゲームをコントロールしたりしなければなりません。このように気を遣う部分が多いのが選手とレフェリーの大きな差だと思っています。

共通することは選手でもレフェリーでもサッカーは楽しくて、難しいということです。審判を始める前はこんなに奥深いものとは思っていませんでした。この奥深さが楽しくて面白いと思います。そして、選手でもレフェリーでも人間なのでミスをします。完璧なプレー、ジャッジをすることを目指すことはもちろんですがなかなかできない。毎試合のように課題が出てきて難しさを感じます。これは選手もレフェリーも一緒だと思っています。

Q. 選手の中にはレフェリーをやりたいけど言い出せない方、残念ながら嫌々やっている方など様々だとありますが、そんな人々へ何か一言頂けますか？

菊池： レフェリーをやってみたいけど言い出せない方はもしかしたら周囲の反対を受けそうとか他の選手に冷やかされそうなどの理由で言い出せないのかもしれませんが、レフェリーは報われないものでも恥づかしいものでもありません。レフェリーも選手もサッカーに関わるものとしては上も下もなく平等だと思っています。まずは勇気を出してレフェリーとして活動できる環境を探してみてチャレンジしてみてください！

また嫌々レフェリーをしている選手には審判をすることから学ぶこともあるということを伝えたいと思います。主審でも副審でも選手と違ったプレーの見え方ができます。そういった情報の中で新しい発見があったり、選手としても役立つものがあつたりするかもしれません。意識してみるとレフェリーも面白いんだなと感じると思います。ぜひ考え方を変えてレフェリーをしてみてください！



Q. U18など、選手が帯同でレフェリーをするリーグなども多いと思います。そんな人達に皆さんからも一言お願いします。

金次： 同年代の選手から文句を言われたり、嫌な思いをすることもあると思います。なので、審判をやりたいと思わずに、サッカーを色々な角度から見る面白さを知ってもらえたら良いなと思います。新しい発見をして自身のプレーの幅や人間性の幅を広げてもらえる機会にしてもらいたいです。一緒にサッカーを楽しみましょう！

森田： レフェリーとしてサッカーに関わることで、サッカーのまた違った側面が見えてくることもあると思っています

す。ぜひ一緒に組むときには色々な話をしてお互いに素晴らしい機会になるようにしていきたいです。むしろ、僕もレフェリーの楽しさを伝えられるくらいに成長していきたいと思っているのでよろしくお願ひ致します。

小西：自分も大学まで競技者としてプレーしながらたまにある帯同審判を少しずつやっていく内に審判として上に行きたいと思うようになりました。帯同審判をして頂いている方の中には、試合に出られなくて、仕方なくやるという形の方もいると思います。自分もそうでした。なので、帯同審判をきっかけに少しでも審判に興味を持っていただき、大好きなサッカーに違う形で関わって行きたいという選択肢の1つとしている審判を選択してもらえれば、嬉しいと思います。

ありがとうございました！本部のてるてる坊主もニコリ笑っていました。

